

おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 21 号 (11 月 6 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

県新人一回戦 ファインシュートに沸く

11 月 4 日 (月) 県新人の一回戦が行われました。山東の相手は一年間 Y2A で共に戦った長井高校。今期 Y2A では苦しい戦いが続いたものの、その経験を生かし、県新人の切符を勝ち取ったチーム。対する山東は、選手権で準々決勝まで勝ち上がることができ、相応の手ごたえを感じて県新人に臨むものの、このところずっと故障者が多く、練習において選手権出場メンバーが 5、6 人いないのがざら、という苦しいチーム状況。一二年生総勢で選手 21 名しかいない中の 5、6 名なので、練習の雰囲気はやはり停滞気味。それら故障者も何とか県新人に間に合わせてきたものの、選手権からの上積みを問われると、答えに詰まってしまう。一応ここ数週間、今期発揮した【粘り強さ】にプラスさせて【自分たちで主導権を握るサッカー】を目指してきたが、わずかな期間でどうなる問題でもないし、そのわずかな期間の成果すら、練習にて故障者が多すぎたため浸透が危ぶまれる。そんなもどかしさの中、11 月 4 日を迎える¹。

当日、前日からの降雨によりコンディションが危ぶまれるも、われわれの試合会場は**村山地方の公式戦の新たな聖地になりつつある山形明正 G**、もちろん人工芝！ クレー (土) ではグチャグチャになりそうだが、人工芝ではせいぜいボールが止まる／スリップする程度。この会場で試合をさせてもらう喜びをなお一層感じる。第一試合は、第一シードの東海大山形と米沢東の試合。試合は東海が圧倒しましたが、驚くのはその圧倒の仕方。DF は冷静なショートパスと正確なキック技術に裏打ちされたロングフィードが素晴らしい²。MF はアップダウンを繰り返し、攻撃では前線のラインを越え、最前線に飛び出すのを厭わない。そして、FW というかゴール前では、ニアサイドで深い位置まで侵入、そのままシュートしてもいい場面を作りつつ、ファーサイドから飛び出している選手を使い、ゴール前を横切るパスで相手 GK をあざわらい無人のゴールにフィニッシュ、という場面を幾度も作る。相手選手が待ち構えている中に放り込む大味なセンターリングではなく、**相手 GK に対して味方 2 枚で 2 対 1 を作り難なくゴールを決める FC バルセロナばりの攻撃**に、賛嘆の声しか出ない。

さて、第 2 試合山東対長井。試合が始まると、何となく右サイドにボールが運ばれ、センターリング後、「ゴチャゴチャやってるな」と遠巻きに見ていると、いつの間にネットを揺ら

¹ 今年はスポンサーの関係 (野球の日本シリーズの関係) により、10 月末のテレビ枠を選手権山形県大会決勝で取ることができず、例年より選手権の決勝が一週遅れたため、そのあおりを受け、県新人一回戦が 11 月 4 日 (月) からとなりました。11 月 9 日 (土)、10 日 (日) は全国的に、プレミアリーグ (全国リーグ) と各地方プリンスリーグ間、および、各地方プリンスリーグと各県リーグ代表間で昇格決定戦が開催されるため、空けなければならず、2 回戦以降は 16 日 (土)、17 日 (日) そして平日の 18 日 (月) という変則的な日程になりました。

² 相手の裏のスペースに出しつつ、逆回転がかかり、ゴールラインを割ったり GK に捕られたりしない絶妙なコントロールパスが多かったです。

している。**時計を見ると 36 秒！ 山東、電光石火の先制！！** とまあ、最初からいきなり点が入り、少し緊張が和らぐ。その後は、山東押し気味で進むも、長井からも鋭いカウンターを受け、失点してもおかしくないシーンを作られる。そんな中、またしても CK を発端とするゴール前のゴチャゴチャからネットを揺らし、追加点をゲット。最後は、これまで部報にて「漁夫の利」を活かすと形容されることの多かった**カツト**が、みずからのドリブルから絶妙なコントロールシュートを放ち、3 点目を決める。**この得点、漁夫の利ではなく、自らの力で引き寄せた正真正銘のカツトの力で取った得点であり、右足（利き足は左足）の内側でこすられファーサイドに巻いて入る、しかもグラウンダーで、相手 DF の外側を巻いて入る GK 泣かせの素晴らしいファインシュートでした。**前半 3 対 0。

後半は、前半以上に、試合内容を反映しない山東の得点が続く。まず、カツトは、右足・左足からともにコース重視のミドルシュートで得点し、この試合**ハットトリック**。それ以外にも、コウタ、クリロンの GK と 1 対 1 になっての冷静なシュート、途中出場のサッチモのカツトばりのミドルシュートで、結局合計 5 点追加。逆に、**守備では、CDF とボランチの間の通称バイタルエリアをしっかりとコントロールすることができず**、時間を追うごとに長井の鋭い攻撃を許すようになる。2 枚の CDF も頑張っているものの、まずい対応が目立ち、立て続けに危ないシーンを作り、結局その流れの中で 1 失点。**守備はかなり課題が残りました。**攻撃は、攻撃全体が良かった、というより、ミドルシュートを含めシュートがよくコントロールされており、**崩しきらずにもゴールをゲット**することができました。この日に限っては、素晴らしい決定力でした。たまたまと言ってもいいのですが、ハーフタイムにカツトに前半のファインシュートを褒めると「練習通りです」の返答があったのをふまえ、練習の成果が出た 8 得点だったと無理やりにでもまとめておきましょう。・・・まあ、真価は次戦で判断してください。

会場を貸して下さり、運営までして頂き、さらにはお弁当を頂戴し、挙句の果てに公式戦の後には練習試合までさせてもらいました山形明正の皆様、本当にお世話になりました。

次戦も、やや遠くなりますが、応援よろしくお願ひします。

11月16日（土）県新人2回戦 日大山形戦 @米沢興譲館 G 13:00~

勝てば 17日（日）県新人準決勝 @米沢市営人工芝 15:00~

さらに勝てば 18日（月）県新人決勝 @米沢市営人工芝 11:00~

進学校大会 何とか大会を乗り切る

県新人を一週前に控えるタイミングの 10 月 26 日（土）、27 日（日）に第 4 回の進学校大会が開催されました。当初の日程は 11 月 9 日（土）10 日（日）でしたが、注 1 の事情により 10 月末が空いたので、県新人前のタイミングで大会を実施しました。今年の上東は選手数の関係で 2 チーム作れないので、猿倉 G で行われた B 会場では米沢興譲館 B との合同で出場。**米沢興譲館の皆様、ありがとうございました。**たいらぐら G にて実施された A 戦は単独チームで出場したものの、故障しており出場させたくはない選手を何名か交代交代で出さざるを得ない非常事態。最終日には、A より早く終わった B の選手にフル稼働してもらい、何とか大会をこなすことができました。県新人前にいろいろ試したかったのですが、今年の上東大会は上東にとって苦しいものとなりました。結局 2 勝 2 分け 1 敗の戦績（鶴南に負け）。

優勝は、鶴岡南。二度目の栄冠、おめでとうございます。